

国立病院機構熊本医療センター

No.145



# くまびょう NEWS

NHO KUMAMOTO MEDICAL CENTER KUMABYO NEWS

発行所  
国立病院機構熊本医療センター  
〒860-0008  
熊本市二の丸1番5号  
TEL (096) 353-6501(代)  
FAX (096) 325-2519

## 脳神経外科手術用の最新式顕微鏡が導入されました



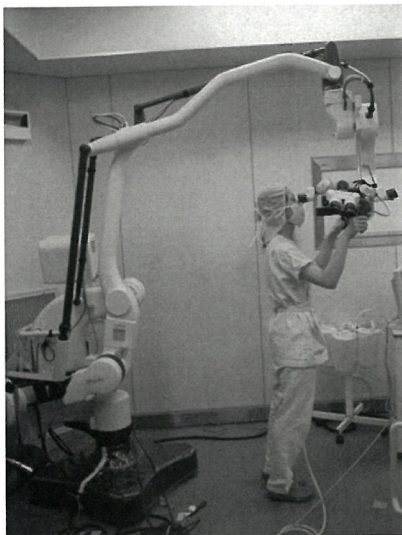
脳神経センター  
脳神経外科医長  
大塚 忠弘

平成21年度4月に脳神経外科手術用の最新式顕微鏡（三鷹光器社製MM80）が導入されました。当院では平成6年に脳神経外科が開設され、以来、15年間に渡り外国製手術顕微鏡を使用してきました。旧機種と比較して新機種では高解像となり視野の明るさが向上し

たのは勿論ですが、他社製品にない特徴として、短い鏡筒およびオーバーヘッド型アームが挙げられます。鏡筒が約半分に短く（12-3cm）改良された分、対物レンズと術野間の操作空間が広くなり吸引チューブやバイポーラ摂子の扱いが楽になりました。また、従来品はアームが短いので、顕微鏡土台を術者の脇近く据え置くことになり窮屈に感じておりました。しかし、オーバーヘッド型アーム（特注品として更に10cm分長くしてもらいました）採用により、後方で離れて顕微鏡土台を置き術者の頭上を越えて術野に到達可能となり、術者の両脇にフリースペースが確保され操作性が増し



顕微鏡下手術の様子



最新式顕微鏡（三鷹光器社製MM80）

ました。

画期的な脳神経外科手術の開発として、歴史的には1960年代にチューリッヒの脳神経外科医G.Yasargilにより手術用顕微鏡が導入され（いわゆるマイクロサージェリー-microsurgeryの導入）、これを契機に脳神経外科手術の安全性と有効性が飛躍的に向上しました。脳神経外科顕微鏡手術では、左手に吸引管を右手にバイポーラ摂子を持ち、左足で手術椅子の上下と顕微鏡ズームの変更を行い、右足でフォーカスの調整とバイポーラスイッチのオン・オフをします。新機種ではこれに加えて右足での視野移動が可能となり、さながら蛸足のごとく両手両足を術中絶えず動かします。また、最適の視野を求めて顕微鏡の進入方向を頻繁に変更し深さの調整を行います。他科の顕微鏡手術が「静」とすると脳外科のそれは「動」の手術と言えます。顕微鏡下手術で5～6時間以上を要することは希でなく、術者の集中力を維持し最大限の手術効果を達成するため顕微鏡操作の快適性・高機能性は大変重要な要素です。最新式の手術顕微鏡が導入され、益々手術成績が向上するよう努力したいと思います。



## 宇城市の医療と 熊本医療センター

医法) 社団児嶋会  
まつばせ児嶋クリニック  
理事長 児嶋 真治



こんにちは。

宇城市松橋町で開業して8年目になる児嶋です。

国立病院機構熊本医療センターの先生方には日頃から大変お世話になっています。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

宇城市は熊本市と八代市の間に位置し、大きな総合病院がありません。特に、小児科・耳鼻科・眼科・皮膚科などで入院を要する患者さんや脳神経外科・循環器の重症者は、熊本市あるいは八代市の総合病院に紹介する必要があります。また、内科でも血液疾患・膠原病・腎疾患など特殊な疾患が疑われる患者さんなども受け入れ病院がありません。他に、歯科口腔外科疾患や精神疾患なども紹介に苦慮することがあります。

当院には、小児から老人まで、幅広い年齢層の患者さんが受診されます。扱う疾患も多種多様で、専門医に紹介する必要がある患者さんも多数来られます。

こうした状況のなかで、熊本医療センターは、以上の患者さんすべてに対応できる頼もしい医療機関の1つです。距離的な問題もあり、すべての患者さんを紹介するわけにはいきませんが、今後ともどうぞよろしく願い申し上げます。

## 平成21年度 第1回開放型病院運営協議会開催される

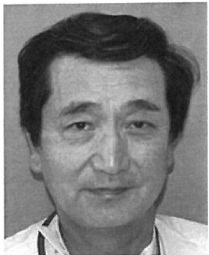
平成21年度第1回(通算28回)の国立病院機構熊本医療センター開放型病院運営協議会が平成21年6月22日(月)午後7時より当センター会議室で開催されました。協議会の委員は熊本市医師会より医師会長の福田 稠先生、副会長の加来 裕先生、担当理事の田中英一先生、家村昭日朗先生がご出席頂き、当院より池井院長、河野副院長、野村統括診療部長、片淵地域医療連携室長が出席致しました。

院長より、医師会長はじめ医師会委員の先生方に日頃の御礼を述べ、続いて福田委員長よりご挨拶を頂きました。議事に移り、事務局より開放型病院利用状況、開放型病院登録医数、訪問医師数、共同指導数などを報告しました。ついで第26回開放型病院連絡会(平成21年2月28日)の参加者数、「くまびょうニュース」の発行状況について報告を行いました。

第26回連絡会には多数の参加があり、ご参加の先生方には改めて御礼申し上げます。

次の協議事項では、平成21年度第1回(通算27回)開放型病院連絡会の開催について協議され、平成21年10月5日(月)午後7時より新病院2階の地域医療研修センターで開催することが決定しました。これに先立ち当日午後5時半から6時半までご希望の皆様に新病院見学を予定しております。総会では担当診療科による症例の呈示、新病院における開放型病院の利用手順の説明などを行うことになりました。そのあとはロビーにおきまして懇親会を予定しております。開放型病院連絡会に多数の先生方、スタッフの皆様がご参加頂きますようお願い申し上げます。

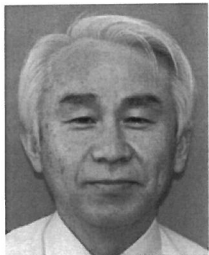
(副院長 河野 文夫)



院長  
池井 聰

外科全般、消化器外科、救急医療

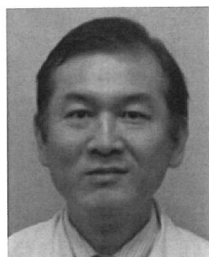
日本外科学会指導医・専門医・認定医  
日本消化器外科学会指導医・専門医・認定医  
日本消化器病学会指導医・専門医



外科部長・地域医療連携室長  
片渕 茂

外科全般、消化器外科（特に肝胆膵）、  
肝胆膵非観血の治療、  
鏡視下手術

日本外科学会指導医・専門医・認定医  
日本消化器外科学会認定医  
日本消化器病学会専門医  
日本消化器内視鏡学会専門医  
日本がん治療暫定教育医  
日本肝胆膵外科学会  
日本内視鏡外科学会



臨床研究部長  
芳賀 克夫

外科全般、消化器外科、  
鏡視下手術

日本外科学会指導医・専門医・認定医  
日本消化器外科学会指導医・専門医・認定医  
日本消化器病学会指導医・専門医  
日本癌学会  
日本食道学会  
日本胃癌学会  
日本外科感染症学会



外科医長  
宮成 信友

外科全般、消化器外科、  
胸部外科（特に食道）、内分泌外科、  
鏡視下手術、救急医療

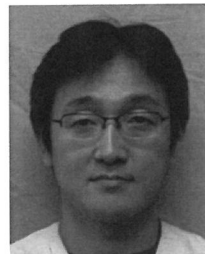
日本外科学会指導医・専門医・認定医  
日本消化器外科学会専門医・認定医  
日本がん治療暫定教育医・認定医  
日本食道学会  
日本胃癌学会  
日本癌治療学会  
日本内視鏡外科学会



外科医長  
大堂 雅晴

外科一般、肝胆膵外科、超音波診断、  
鏡視下手術、救急医療

日本外科学会専門医・認定医  
日本消化器外科学会専門医  
日本消化器病学会専門医  
日本内視鏡外科学会手術認定医  
日本肝臓学会専門医  
日本超音波学会指導医  
日本がん治療暫定教育医  
日本肝胆膵外科学会



医師  
本田 志延

外科一般、消化器外科（特に大腸）、  
胸部外科、救急医療

日本外科学会専門医・認定医  
日本消化器外科学会  
日本大腸肛門病学会  
日本癌治療学会  
日本緩和療法学会  
日本内視鏡外科学会  
ACR



医師  
多森 靖洋

外科一般、消化器外科、乳腺外科、  
内分泌外科、救急医療

日本外科学会専門医・認定医  
日本消化器外科学会  
日本臨床外科学会  
日本癌治療学会



医師  
松本 克孝

外科一般、消化器外科、  
乳腺外科、内分泌外科、救急医療

日本外科学会認定医  
日本消化器外科学会  
日本消化器病学会  
日本外傷学会



医師  
富樫 陽彦

外科一般、消化器外科、乳腺外科、  
内分泌外科、救急医療

日本外科学会  
日本消化器外科学会  
日本消化器病学会  
日本消化器内視鏡学会



医師  
田中 洋平

外科一般、消化器外科、  
救急医療

日本外科学会認定医  
日本消化器外科学会  
日本消化器病学会

(次ページへつづく)

2009

## 診療科紹介(14) 外科続き



医師

中川 茂樹

外科一般、消化器外科、救急医療

日本外科学会  
日本消化器外科学会  
日本消化器病学会

医師

藤原 沙織

外科一般、乳腺外科、  
内分泌外科日本外科学会  
日本乳癌学会  
日本臨床外科学会  
日本癌治療学会

## 診療内容と特色

外科では一般外科に加え、呼吸器、消化器（特に、食道、胃・大腸、肝胆膵）、乳腺内分泌を中心に幅広い分野を診療しています。中でも「がん」の診療に力を入れており、手術、化学療法、内分泌療法、放射線治療と積極的に集学的治療を行っています。

周術期の重症管理は高いレベルであり、リスク評価を用いた予測死亡率よりも良好な成績を収めています。また、県内では最も古くから腹腔鏡手術を導入してお

り、症例の蓄積により腹腔鏡手術には定評があります。胃癌、大腸癌に対しては、鏡視下手術を行っています。さらに超音波検査、消化管内視鏡検査、消化管造影検査、ERCP、PTCD、胆管ステント挿入など検査や非観血的治療にも力を入れています。

## 診療実績

平成20年の外科の入院患者数は1,120名であり、手術件数は703件でした。

「がん」の診療に力を入れており、手術、化学療法、内分泌療法、放射線治療と積極的に集学的治療を行っています。緊急手術は275件と増加しており、鏡視下で虫垂切除術や十二指腸潰瘍穿孔に対する大網充填術なども行っています。このように、がん治療と共に、腹腔鏡手術等による低侵襲手術や救急医療に積極的に取り組んでいます。

## 研究実績

臨床研究では全国の国立病院機構の53病院で当院が基幹病院となり予定消化器外科手術の技術評価に関する大規模研究を進めています。その他、多数のがん治療を行っています。

## ご案内

午前中の診療は外来担当医が対応致します。また年中無休で回診とカンファレンス（平日は朝7時45分、休日は朝9時より）を行っています。24時間いつでも急患に対応できる体制を整えていますので、ご連絡頂ければ即座に対応致します。

## 外来担当医表

	月	火	水	木	金
外科外来	芳賀 克夫 大堂 雅晴	多森 靖洋 松本 克孝	片渕 茂 多森 靖洋	宮成 信友 松本 克孝	芳賀 克夫 本田 志延 富樫 陽彦

患者様のご紹介は、096-353-6501（代）片渕（内線733）、宮成（内線735）、大堂（内線849）、本田（内線663）、多森（内線661）、松本克（内線803）へ直接お電話頂くか、患者様へ紹介状を持たせて受診して頂いても結構です。時間外・休日は外科宛の紹介状を持参し救急外来を受診して頂くと、当番の外科医が診察し必要に応じて入院治療を致します。

いま、国立病院機構  
熊本医療センターで  
何が研究されているか

シリーズ 37回

全国規模で進む糖尿病対策

内科医長 豊永 哲至



最新の統計で1,870万人にも達した糖尿病患者数をいかに抑制し、治療脱落を防止するかは緊急の問題となっています。このため糖尿病の専門機関をネットワーク化して総合的な研究が推進されています。当科もこれらの研究に積極的に参加し、臨床研究を行っています。また、クリティカルパスを用いた独自の研究を行っています。以下に当科で行われている臨床研究について説明します。

1) JDCP study

日本における糖尿病の現状を正確に把握することは今後の糖尿病対策のために非常に重要です。本研究は日本全国の糖尿病患者10,000症例のデータベースを構築することにより、糖尿病合併症の実態、糖尿病治療ならびに治療薬が合併症の発症・進展に及ぼす影響、歯周病との関係、について検討するものです。

2) prevent me

糖尿病は易動脈硬化状態です。早期の動脈硬化を簡単に非侵襲的に評価できれば非常に有用です。本研究は肥満歴・2型糖尿病・高血圧を合併した患者（いわゆるメタボリックシンドローム）において、網膜病変を解析することで、心血管病変の早期発見・評価方法を確立し、厳格な治療の効果についても検証するものです。

3) 糖尿病性腎症発症進展阻止のための家庭血圧管理指針の確立

糖尿病腎症の発症進展には血糖のみならず血圧が重要です。また、最近の高血圧ガイドラインでも血圧の評価として、家庭血圧の重要性が示されています。本研究は早期腎症期の糖尿病性腎症患者を対象に、家庭

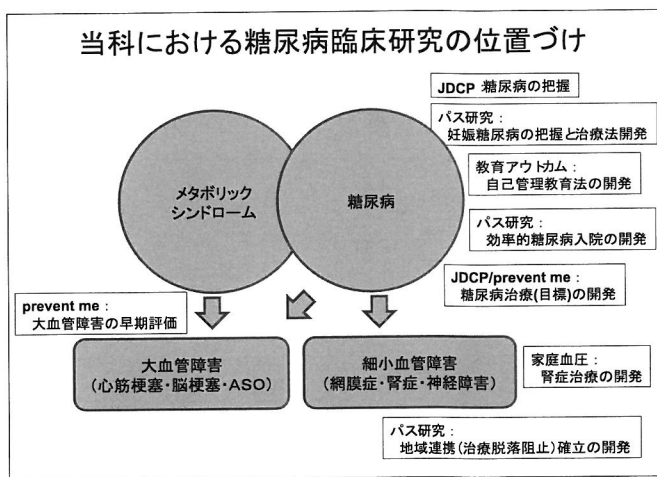
血圧の目標値を確立するものです。

4) 糖尿病教育アウトカム指標の開発

糖尿病治療において自己管理は重要であり糖尿病教室が行われていますが、そのアウトカム評価は困難です。本研究は糖尿病教育の効果を自己管理と身体状況を解析することで明らかにし、患者教育法に関する共通のシステムを開発するものです。

5) その他

当科における糖尿病関連クリティカルパスには、インスリン導入・教育入院（インスリン使用・インスリン非使用）・糖尿病腎症食事療法導入・高血糖昏睡・低血糖昏睡・妊娠糖尿病・週末教育入院があります。糖尿病教育のために入院された患者ではほぼ100%に使用されています。これらの入院クリティカルパスの解析により、教育入院の効果・効率の研究、妊娠糖尿病の研究を行っています。また、地域連携パスを用いることによる地域連携を確立することで糖尿病受診率を上昇させる研究を行っています。

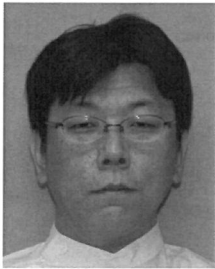


ホームページをご利用下さい。診療、研修、研究など情報満載です。

くまびょうNEWS55号から継続して掲載されています。

国立病院機構熊本医療センター ホームページアドレス <http://www.hosp.go.jp/~knh/>

# 当院のNSTについて



消化器科  
中田 成紀

患者様の栄養を管理し、栄養状態を改善することは免疫力の向上、感染の予防に始まりひいては入院生活の質の向上、入院日数の短縮等様々な利点があり、基本的医療の1つです。栄養サポートとはこの栄養管理を個々の疾患や症例に応じて適切に実施することです。

この栄養サポートを医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師などの職種の壁を越えて実践する集団をNST (Nutrition Support Team; 栄養サポートチーム) と呼びます。

当院では2004年4月よりNSTを立ち上げ、介入し

た症例は延べ9,000例を超えます。

現在、当院のNSTは病棟ラウンド、全体会議および勉強会の3本柱で活動を行っています。病棟ラウンドでは褥瘡(持込・院内発生)、絶食等の危険因子を持つ患者様をピックアップして栄養状態を評価し、適切な栄養療法(エネルギーや栄養の投与方法、補助食品の付加など)を提案しております。全体会議は年4回行っており、NST活動について各職種より報告を行い、褥瘡ラウンドとも連携しております。また症例検討会やその他に勉強会を年4回実施し、新しい知識や技術を紹介し、啓発を行っています。

これらの活動が評価され、2009年4月1日より当院は日本静脈経腸栄養学会よりNST稼働施設として認定されました。今後も研鑽を積み、より質の高いNST活動を推進してまいります。

## 新任職員紹介



産婦人科  
高木 みか

4月より産婦人科に勤務させて頂いております高木みかと申します。

平成9年に富山医科薬科大学を卒業し、寒さに耐え切れず熊本大学産科婦人科学教室に入局しました。熊

本で2年間の研修ののち神戸で4年間臨床にまみれ、熊本に戻り熊本大学産婦人科で6年間婦人科腫瘍学を中心にこれまで臨床に従事してきました。長年女性のみを相手にしてきており、男性にまみれること久しく救急勤務には緊張の面持ちです。

広く女性の強い味方である点では、患者さんだけでなく病院スタッフはじめ(女性)関係者のよろず相談所になれるよう、また医師としては地域医療のために貢献できるよう日々努力して精進していきたい所存です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



外科  
藤原 さ織

6月より当院外科に勤務しております藤原沙織と申します。生まれも育ちも熊本で、出身大学も熊本大学です。初期研修後、昨年熊本大学乳腺内分泌外科に入局し1年間乳癌を中心に診察しておりました。当院で

は消化器をはじめ広く外科一般を担当させて頂いております。

当院は救急病院であり、また医療スタッフも大変活気があり、このような環境で勤務できることを感謝しております。まだ不慣れな点も多いですが、早く当院のスタッフの一員として皆様に貢献できるように努めて参ります。未熟者ですが、患者さん一人一人と向き合うことを忘れず一生懸命診察したいと思います。どうかよろしくお願ひいたします。

### ■原稿を募集致します■

登録医の先生の投稿を歓迎致します。400～800字程度を基準にお願い致します。

送付先 〒860-0008 熊本市二の丸1-5

国立病院機構熊本医療センター 『くまびょうNEWS』編集室まで

## ■ 研修のご案内 ■

### 第126回 月曜会（無料） （内科症例検討会） 〔日本医師会生涯教育講座3単位認定〕

日時▶平成21年7月13日(月)19:00~20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター 教育研修棟4階

日常診療の悩みを解決します。ぜひ、ご参加ください。

1. 柏原医長による胸部レントゲン読影
2. 持ち込み症例の検討
3. 症例検討「大珠性貧血のみかた」

国立病院機構熊本医療センター総合医療センター血液・膠原病内科 宮川 雄介

4. ミニレクチャー「CKDガイド2009」 国立病院機構熊本医療センター腎センター腎臓内科 田尻 景子
- 悩んでいる症例、これは情報共有したいと思われる症例をお持ち下さい。

〔問合せ先〕国立病院機構熊本医療センター研修部長 清川 哲志 TEL:096-353-6501(代表) FAX:096-325-2519

### 第95回 三木会（無料） （糖尿病、脂質異常症、高血圧を語る会） 〔日本医師会生涯教育講座3単位認定〕 〔日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定〕

日時▶平成21年7月16日(木)19:00~20:45

場所▶国立病院機構熊本医療センター 教育研修棟4階

1. 「ショック昏厥を伴った高浸透圧性非ケトン性昏睡の1例」

国立病院機構熊本医療センター総合医療センター内分泌・代謝内科

上野聡史、花谷聡子、児玉章子、高橋毅、豊永哲至、東輝一朗

2. 「救命しえた乳酸アシドーシスを伴った2型糖尿病の1例」

国立病院機構熊本医療センター総合医療センター内分泌・代謝内科

花谷聡子、上野聡史、児玉章子、高橋毅、豊永哲至、東輝一朗

3. 「高血圧性脳症および腎不全を伴った原発性アルドステロン症の1例」

国立病院機構熊本医療センター総合医療センター内分泌・代謝内科

豊永哲至、上野聡史、花谷聡子、児玉章子、高橋毅、東輝一朗

なお、興味のある症例、疑問・質問のある症例がございましたら、お持ちいただきますようお願い致します。

〔問合せ先〕国立病院機構熊本医療センター内科部長 東 輝一朗 TEL 096-353-6501(代表) 内線705

### 第95回 総合症例検討会(CPC) 〔日本医師会生涯教育講座5単位認定〕

日時▶平成21年7月22日(水)19:00~20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター 教育研修棟4階

テーマ：悪性リンパ腫の治療中に起こった急激な白血球増加 (60歳代 男性)

臨床担当) 国立病院機構熊本医療センター血液・膠原病内科医長 武本 重毅

病理担当) 国立病院機構熊本医療センター臨床研究部病理室長 村山 寿彦

「全身のリンパ節腫大があり悪性リンパ腫と診断され化学療法を行われていた。治療経過中に急激な白血球増加をきたした。」

\*臨床経過の詳細な検討と鑑別診断を行います。最後に病理よりマクロ、ミクロの所見と剖検診断が解説されます。通常のレクチャー（解説）の前に、馴染みの少ない疾患、病態は、その分野に関するミニレクチャーを予定しております。基本的知識を学んだ後で活発なディスカッションをお願い致します。どなたもお気軽にご参加下さい。

〔問合せ先〕国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501(代表) 内線263 096-353-3515(直通)

## 医学生の為の病院見学のご案内

国立病院機構熊本医療センターでは、医学生を対象に病院見学を受け付けております。日本でも有数の救急車受け入れ実績を有する救命救急センターや鏡視下手術、造血幹細胞移植や血管再生療法など最先端の医療を垣間見ることができます。お申込みは国立病院機構熊本医療センター管理課(TEL096-353-6501)迄ご連絡下さい。

詳細については：<http://www.hosp.go.jp/~knh/> まで

2009年

# 研修日程表

7月

国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

7月	教育研修棟 4階 (ホール)	教育研修棟 1階	その他
2日 (休)			7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 内分泌代謝内科カンファレンス M
3日 (金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
4日 (土)	15:00~18:00 熊本地区核医学技術懇話会		
6日 (月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
7日 (火)			8:00 救急部カンファレンス C 15~19 外科術前後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ 18:00 血液病懇話会 医局
9日 (水)	19:00~20:30 熊本県臨床衛生検査技師会 一般検査研究班月例会		7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 内分泌代謝内科カンファレンス M
10日 (木)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
13日 (日)	19:00~20:30 第126回 月曜会(内科症例検討会) [日本医師会生涯教育講座 3単位認定]		8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
14日 (月)			8:00 救急部カンファレンス C 15:00 外科術前後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ 18:00 血液病懇話会 医局 19~21 泌・放射線科合同ウログラム C
16日 (水)	19:00~20:45 第95回 三木会 (糖尿病、脂質異常症、高血圧を語る会) [日本医師会生涯教育講座 3単位認定] [日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定]		7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 内分泌代謝内科カンファレンス M
17日 (木)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
21日 (火)			8:00 救急部カンファレンス C 15~19 外科術前後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ 18:00 血液病懇話会 医局
22日 (水)	19:00~20:30 第95回 総合症例検討会 (CPC) [日本医師会生涯教育講座 5単位認定] 「悪性リンパ腫の治療中に起こった急激な白血球増加」 19:00~21:00 熊本脳神経疾患懇話会		
23日 (木)			7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 内分泌代謝内科カンファレンス M
24日 (金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
25日 (土)	9:00~18:10 第24回 ナースのための人工呼吸セミナー <講演> 1. 呼吸生理と血液ガス 琉球大学医学部救急医学教授 久木田一朗 2. 呼吸管理と看護のポイント 国立病院機構熊本医療センター麻酔科医長・ICU室長 瀧 賢一郎 3. 慢性呼吸不全に対する非侵襲的人工呼吸と管理 国立病院機構熊本医療センター呼吸器内科医長 柏原 光介 4. 各種病態における呼吸不全の治療 山口大学医学部附属病院先進救急医療センター講師・センター副部長 鶴田 良介 <実習> 人工呼吸器の取り扱い実習 (※今回は看護学校で開催いたします)		
27日 (月)			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
28日 (火)	18:30~20:30 血液研究班月例会	19:00~21:00 小児科火曜会	8:00 救急部カンファレンス C 15~19 外科術前後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ 18:00 血液病懇話会 医局
29日 (水)	19:30~21:00 臨床口腔外科研究会		
30日 (木)			7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 内分泌代謝内科カンファレンス M
31日 (金)			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C

C 病院本館2階カンファレンスルーム 手 手術室控室 別6 別6病棟 外来 小児科外来 M ミーティングルーム 心リハ 心大血管リハビリテーションセンター  
問い合わせ先 〒860-0008 熊本市二の丸1番5号 国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター  
TEL 096-353-6501 (代) 内線263 096-353-3515 (直通)